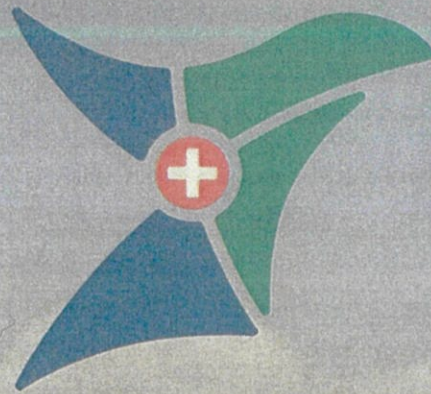


千葉県総合救急災害医療センター

Chiba Emergency and Psychiatric Medical Center

竣工記念式典 令和5年10月14日(土)

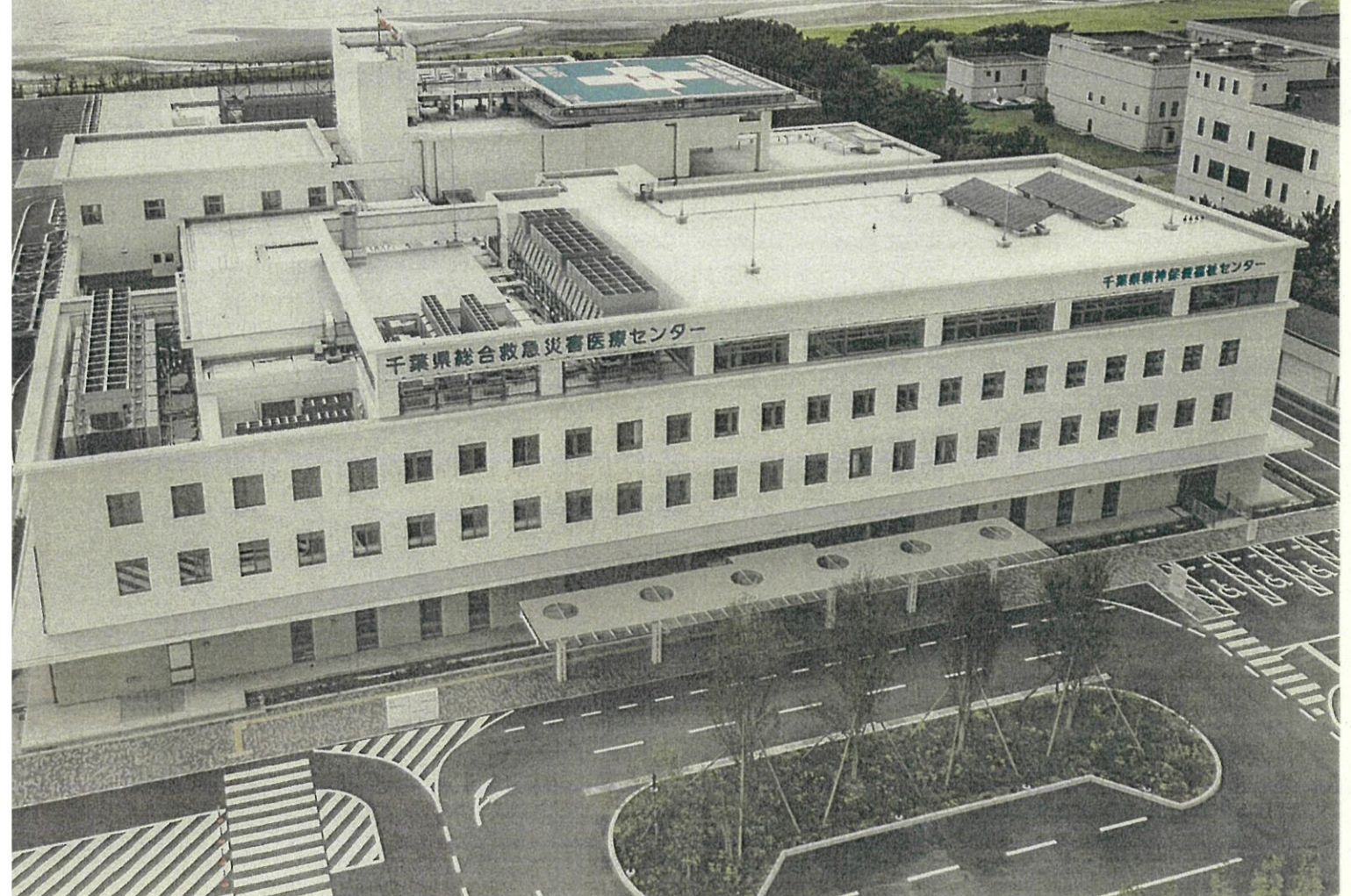


CEPMC

Chiba Emergency and Psychiatric Medical Center



いかなる時も信頼に応え、良質で専門性の高い
救急医療を提供します。



知事あいさつ



千葉県知事
熊谷 俊人

この度、千葉県総合救急災害医療センターが竣工し、令和5年11月1日より開院を迎える運びとなりました。

新病院は、1980年に開設し、千葉県全域を対象に重症患者の救命救急措置を行う第3次医療施設として、また高度救命救急センターとして県内の救急医療を支えてきた千葉県救急医療センターと、1985年に開設し、わが国初の精神科救急に特化した病院として、また県の精神科救急医療システムの中核医療施設として、県内の精神科救急を支えてきた千葉県精神科医療センターが統合したものです。

今回、救命救急医療と精神科救急医療の分野で、それぞれ高度かつ専門的な医療を

提供してきた2つの病院が一体的に整備されることにより、身体と精神の救急医療のさらなる充実、医療の質の向上が図られます。

建物は、免震構造の地上4階建てで延べ床面積が従来の救急医療センター及び精神科医療センターの延床面積の合計よりも約7,000㎡広い約2万2千㎡、病床数は一般病床100床と精神科病床50床の合計150床としています。

また、今回、診療機能の強化として、屋上にヘリポートを新設することにより、搬送時間の短縮と遠方からの受け入れを積極的に推進するとともに、初療室にハイブリッドERを新規運用することで、重症者への治療開始時間の短縮と救命率の改善を図ります。

さらに、災害対応として、防災棟を整備し、迅速なトリアージを実施可能とし、院内エントランスに酸素配管を設置して病室以外のスペースを利用することで、患者の収容能力を向上させるなど、災害医療への対応を強化しています。

今後とも、県民の命を守るため、県内救急医療における最後の砦としての役割を担い、災害時においても、身体と精神の両面にわたる包括的な医療を提供してまいります。



1F エントランス



1F 救急初療室

■ 基本理念

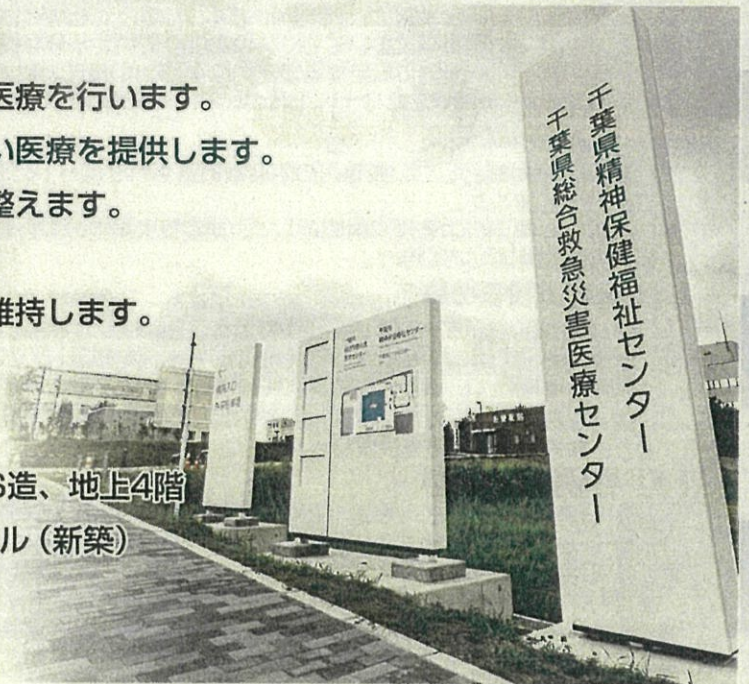
いかなる時も信頼に応え、良質で専門性の高い救急医療を提供します。

■ 基本方針

- 1 患者さんと職員が協同し、安全で最適な医療を行います。
- 2 地域の医療機関等と連携し、切れ目のない医療を提供します。
- 3 さまざまな災害に対応できる医療体制を整えます。
- 4 誠実で優れた医療人を育成します。
- 5 健全な運営に努め、安定した病院機能を維持します。

■ 病院概要

- (1) 建設地：千葉市美浜区豊砂6番1
- (2) 構造・階数：免震構造SRC造、一部S造、地上4階
- (3) 延床面積：22,224.90平方メートル（新築）
- (4) 整備費：約250億円



■ 病院の主な特徴

(1) 診療機能の強化

- 屋上にヘリポートを新設することにより、搬送時間の短縮と遠方からの受け入れを積極的に推進します。
- 初療室にハイブリッドERを新規に運用することにより、特に重症外傷や院外CPA（心肺停止）患者への治療介入の時間短縮を図り、救命率を改善します。

ハイブリッドER：CT撮影による診断からの緊急処置と血管造影診断装置によるカテーテル治療を同時に対応可能です。

- 対応困難な身体・精神科合併救急患者に対し、迅速かつ適切な医療を提供します。

(2) 災害医療への対応

- 防災棟や地上ヘリポートを整備し、迅速なトリアージと搬送を実現します。
- 大規模災害時にも病院機能を維持できるよう非常用電源や必要な水源などのライフラインを配備します。
- 院内エントランスなどにも医療用ガスアウトレットを配置し、緊急時の患者収容能力を強化します。
- 災害時にはDMAT・DPATを同一病院内で運用でき、身体・精神両面にわたる包括的な医療を提供します。

DMAT：大規模災害時や多数傷病者が発生した事故等の現場に、急性期（主に48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

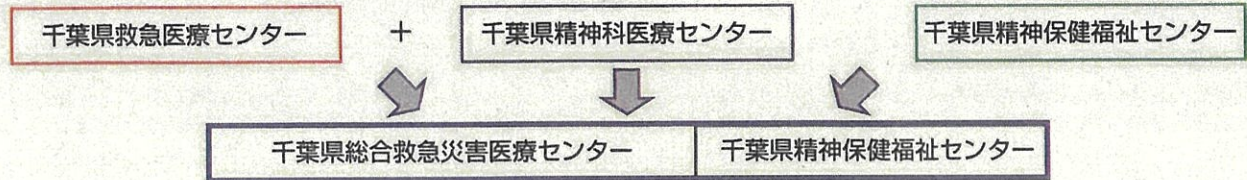
DPAT：大規模災害時や多数傷病者が発生した事故等の集団災害の後、被災地域に入り、精神医療及び精神保健活動の支援を行う専門的な訓練を受けた医療チームです。

千葉県総合救急災害医療センター

Chiba Emergency and Psychiatric Medical Center

施設の概要

千葉県における身体及び精神救急医療の中核を担ってきた両病院を統合し、精神保健福祉センターと合築します。身体・精神科合併救急患者等に対し、迅速かつ適切な医療を提供するとともに、災害時にはDMAT、DPATを同一病院内で運用できる機能を活かして、身体・精神両面にわたる包括的な医療を提供します。



- ①病床構成 一般病床：100床（一般68床、ICU12床、ECU20床）
精神科病床：50床（急性期病床16床、回復期病床34床）
- ②精神保健福祉センター：行政施設（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条）

構造設備概要

(1) 構造方針

- 1) 耐震性能：病院本館は、大地震に遭遇した場合でも構造体を修復することなく建築物を使用できるよう基礎免震を採用しています。附属棟についても、人命の安全に加え十分な機能を確保しました。
- 2) 耐風性能：一般的に設定する風圧力の1.3倍の風圧力に対して、建築物の安全性を確保しました。
- 3) 耐塩害性能：鉄筋コンクリートについて、かぶり厚を増やすなど塩害対策を行うことにより、十分な耐久性を確保しています。

(2) 災害への備え

- 1) 液状化対策として、敷地内の主要な通路やヘリポート、救急入口付近は地盤改良工事の実施や、舗装厚を1m以上と大きくしました。
- 2) 津波・高潮による浸水対策として、想定最大規模の災害を考慮して地盤面を2.45m上げるとともに、機械室や電気室を上階に配置しています。

(3) 電気設備の特色

- 1) 受変電設備：6.6kV本線・予備電源高圧2回線受電方式とし、1回線が停電しても、自動で切り替えて受電が可能です。
- 2) 発電設備：本線・予備電源とも停電した場合を想定し、バックアップ電源として非常用発電機を設置しました。発電機2基が設置され、点検や更新時でも病院機能を維持できます。また、72時間連続運転可能な燃料を備蓄しています。
- 3) 電力貯蔵設備：手術室、ICU、初療室などの最重要機器については、停電時においても電源供給が途絶えることのないよう、無停電電源装置を設置しました。

(4) 機械設備の特色

- 1) 熱源設備：エネルギー源は、電気と都市ガス（中圧ガスの供給停止時は、A重油に切替可能）を併用し、環境に配慮した省エネシステムとするとともに、災害時でも確実に機能する機器の構成としています。
- 2) 給水設備：災害時のライフラインの遮断に備えて、飲料水と雑用水の備蓄として、通常病院で使用する3日分の水量を確保しています。さらに、災害時の雑用水源を確保するために井戸を設置し、トイレの洗浄水として利用します。
- 3) 排水設備：感染系、検査系、RIの特殊排水は、個別に処理を行います。また、大規模地震等により公共下水道への排水が困難となった場合でも排水機能を維持するため、免震ピット下部に緊急排水槽を設置し、7日分の排水を貯留することが可能な構造としています。
- 4) その他のBCP対応：災害時、防災棟横の駐車場に8か所のマンホールトイレが設営できるよう、専用排水設備を設けています。また、エントランスホールには、災害時の中等症患者の収容に対応できるよう、医療ガス設備を設置しています。

建築計画

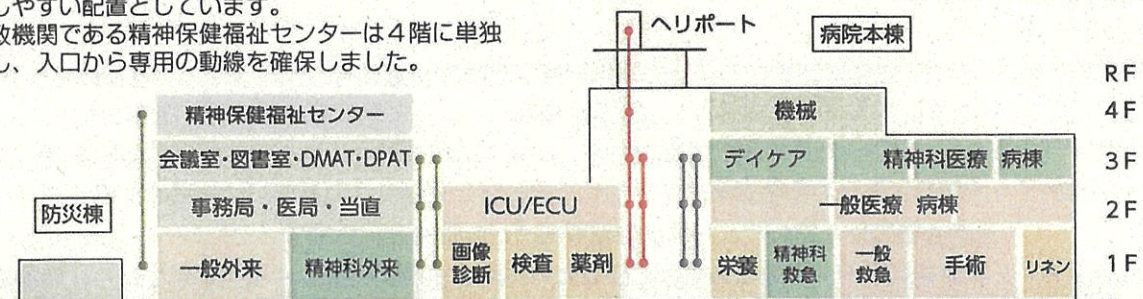
(1) 部門配置

救急部門を中心に、画像診断部門の同一フロアでの隣接など、重症患者の水平移動を重視しました。生命維持装置を付けたままベット搬送が可能な大型エレベーターなど、縦動線の搬送力を強化することにより、スタッフの機動力を十分に発揮できる配置としています。

(2) 断面構成

1階に一般、精神科の救急外来、一般外来、サービス部門を設置しました。2階に身体科入院機能100床、3階に精神科入院機能50床を配置し、それぞれ1フロアに集約しました。病態に応じたゾーニングとし、重症度に応じた転床が容易で連携しやすい配置としています。

行政機関である精神保健福祉センターは4階に単独配置し、入口から専用の動線を確認しました。



運営方針

◆一般救急医療

高度救命救急センターとして、急性心筋梗塞、脳卒中、急性大動脈解離などの重症急性疾患に加え、多発外傷、重症熱傷、急性中毒、四肢切断などの特殊疾患に対して、専門的な医療をいつでも行うことができる体制となっています。

今後も、最高レベルの救急医療を患者さんに提供できるよう全力を尽くしてまいります。

救急医療の充実

100床とコンパクトな病床数である機動性を活かし、治療に関わるすべての部門を24時間365日体制で運用し、循環器内科・心臓血管外科、脳神経外科・脳神経内科、外科、整形外科、形成外科、集中治療科、麻酔科等、各専門科医師が初療から協働して関わる特徴的な治療体制で診療を行います。

新たに、ハイブリッドERを初療室に運用し、救命率の向上を図るとともに、最重症患者のICUに隣接して、国内最大級のエレベーターを設置し、安全な患者搬送及び迅速な診療に配慮しています。



◆精神科救急医療

前身である千葉県精神科医療センターは、わが国初の精神科救急医療専門病院として設立され、救急外来、手厚い人員配置、在宅ケアを支えるデイケア、アウトリーチセンターなど多機能集約的な医療施設として治療を行ってきました。

今後も、精神科救急医療のパイオニアとしての役割を継承しながら、精神障害をお持ちの方々が安心して地域生活を送れるよう体制の充実を図ってまいります。

精神科救急医療の充実

救急外来においては、急性かつ重症なケースを24時間体制でいつでも受け入れ、早期に治療し社会復帰できるようにしています。また、精神科救急情報センターとして、県内の輪番病院又は基幹病院との受診調整を行うとともに、いずれの基幹病院も対応が困難な場合には、当センターにおいて受け入れることになっています。

救命救急医療との一体化により、身体・精神の総合的な救急医療を提供するとともに、併設される千葉県精神保健福祉センターとの連携により、福祉と医療との円滑かつ迅速な橋渡しを目指しています。



◆災害医療

幕張新都心に隣接する当センターには、自然災害のみならず、化学災害などを含む様々な都市型災害への対応も期待されており、各種災害対策のための設備、機器の整備と併せて、多様な実践訓練の実施やDMAT、DPATの連携強化などの準備を進めています。

新たに基幹災害拠点病院及び災害拠点精神科病院に指定されることを踏まえ、被災地からの重症及び精神科患者の受け入れや搬送拠点の機能の強化に加え、県内の災害医療従事者の育成にも取り組んでまいります。

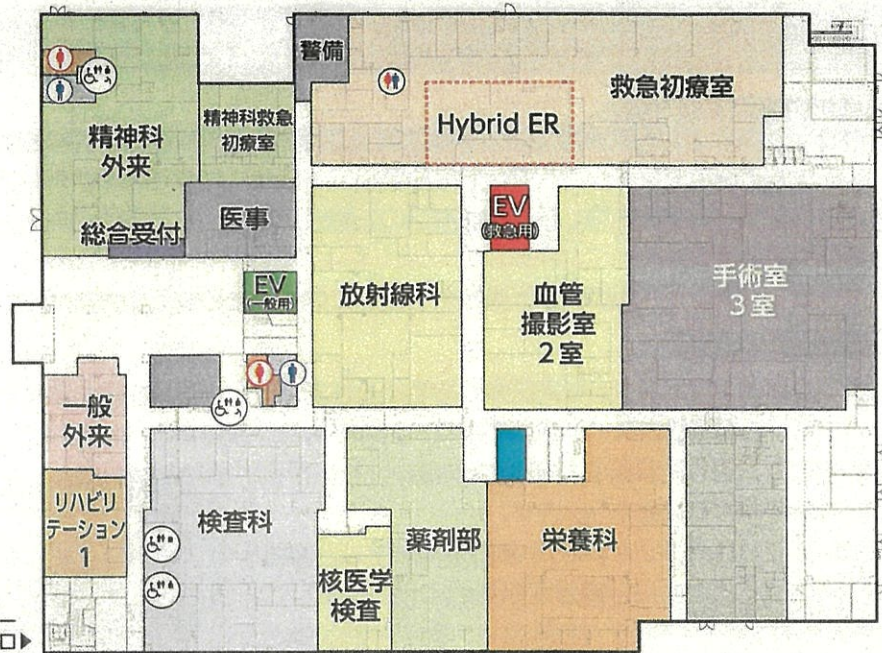
また、DMAT・DPATを同一病院で運用することで災害時においても、身体・精神両面にわたる総合的な救急医療を提供できる体制を整えていきます。



Floor Guide

1F

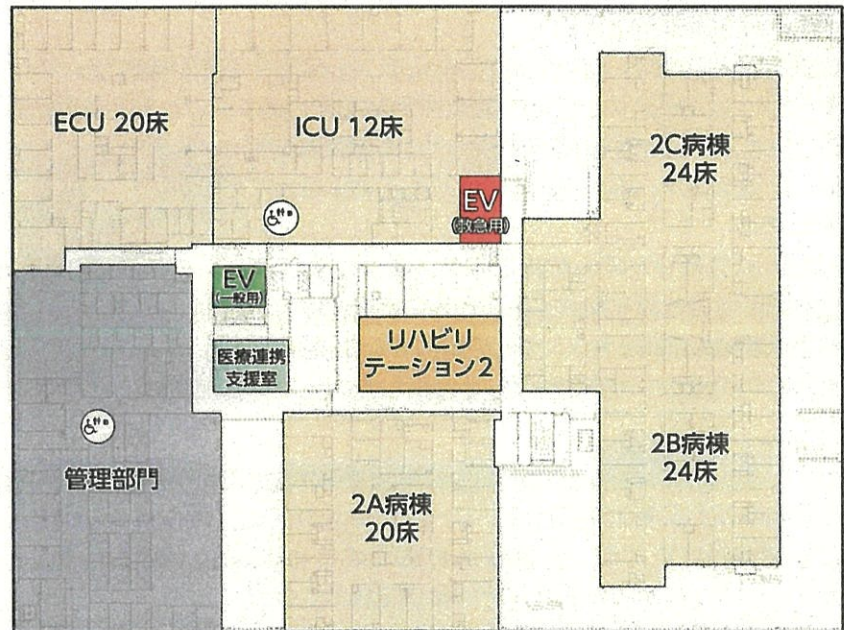
総合受付
 一般外来
 精神科外来
 精神科救急初療室
 救急初療室
 手術室・血管撮影室
 放射線科
 栄養科
 薬剤部
 検査科
 リハビリテーション1
 精神保健福祉センター入口



- 広い落ち着いたエントランスに、視認しやすい総合受付を配置し、心安らげる空間を構成しました。
- 一般外来と精神科外来は、独立した動線を確認し、円滑な医療サービスを提供出来るように配置しました。
- 重症患者を迅速かつ安全に搬送するため、国内最大級のエレベーターを配置しました。

2F

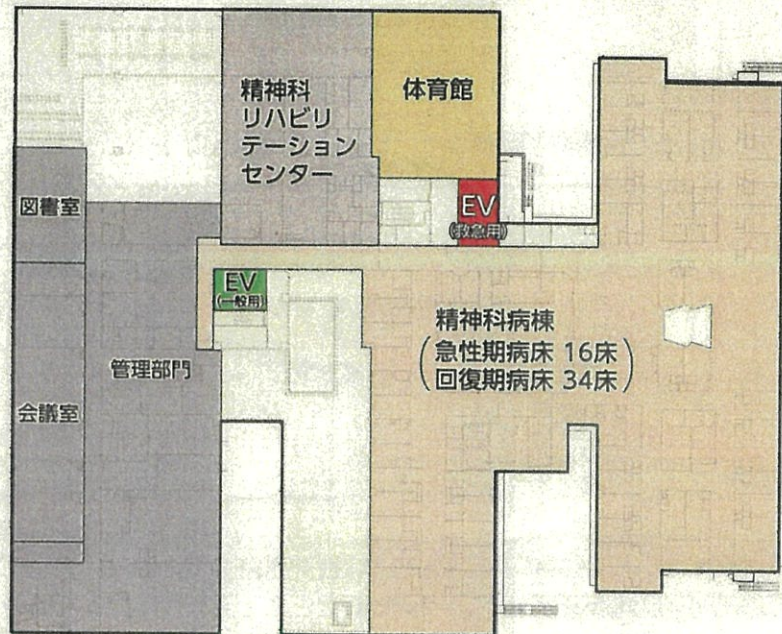
ICU
 ECU
 一般病棟 (2A/2B/2C)
 リハビリテーション2
 医療連携支援室
 管理部門



- 一般病棟のスタッフステーションを病棟の中心に配置し、看護動線を短縮しました。
- ICUに最重症患者用の搬送エレベーターを隣接、安全な患者搬送及び迅速な診療に配慮しました。
- ICUとECUを隣接させることで、各診療科の連携を容易にし、重症度に応じた医療の提供に配慮しました。
- 一般病院では対応が難しい身体・精神科合併患者にも対応可能な病床を用意しました。

3F

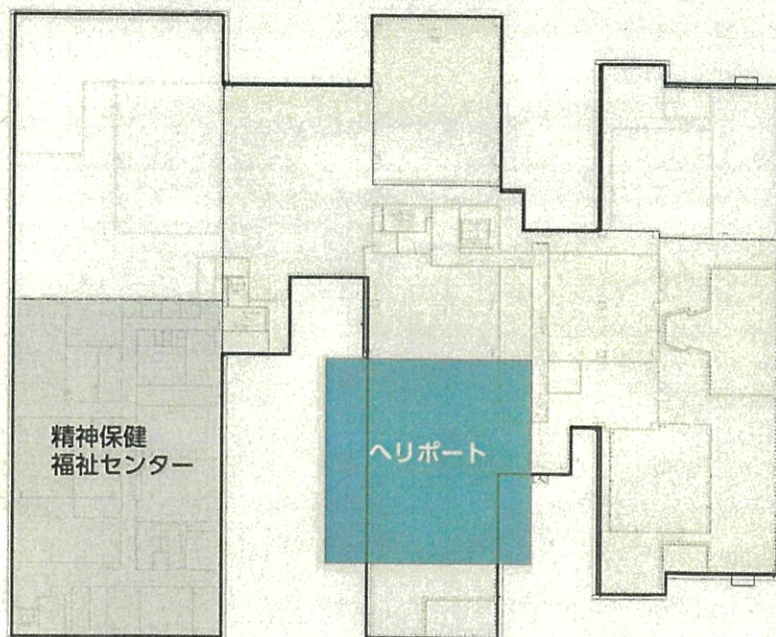
精神科病棟
精神科リハビリテーション
センター



- 精神科病棟は完全個室病床とし、プライバシーに配慮し、容体に応じた円滑なベットコントロールを可能とし、東京湾が一望できる広めのデイルームやテラスを備え、良好な療養環境を実現しました。
- 平時は精神科リハビリテーションで使用する体育館は、災害時の患者収容スペースに転用可能としました。

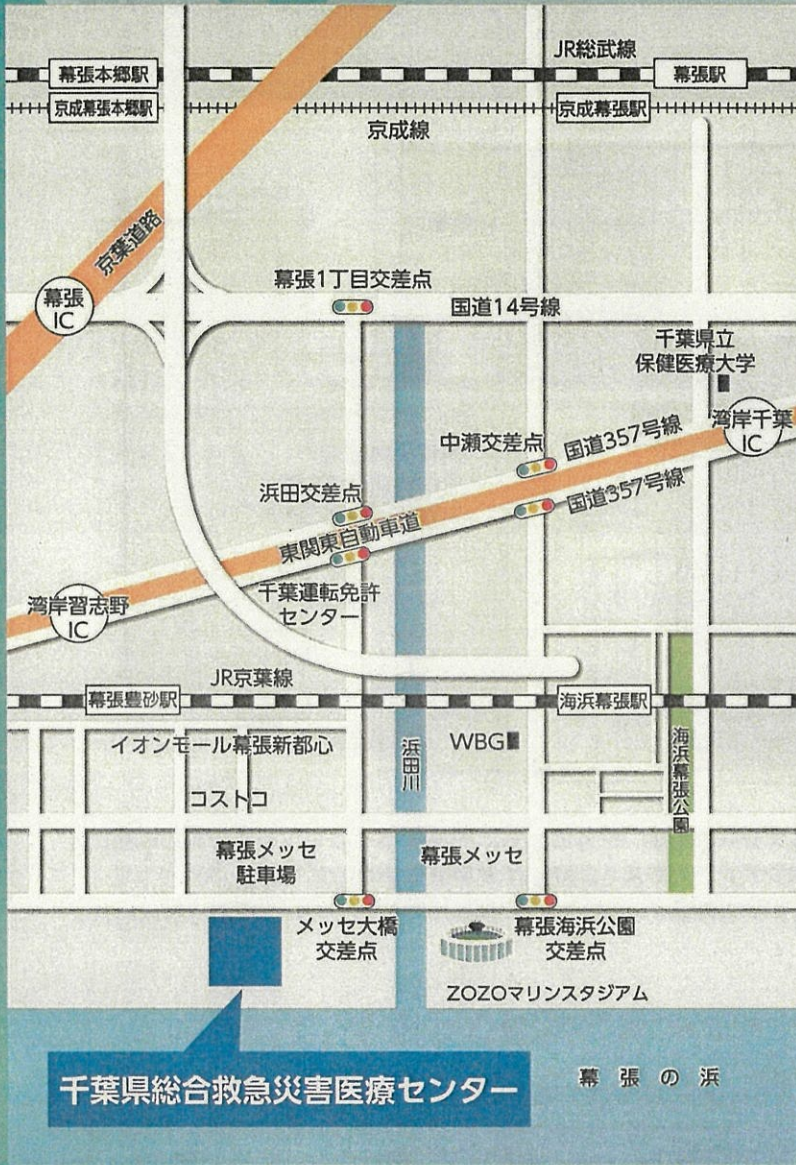
4F

千葉県精神保健福祉センター
(千葉県こころセンター)



Rf

ヘリポート



千葉県総合救急災害医療センター

幕張の浜

Access

病院へのアクセス

■ お車の場合

○ 東京・船橋方面からは

① 東関東自動車道「湾岸習志野」インターチェンジから国道357号線を千葉方面に約1km直進し、分岐を「幕張町・幕張メッセ方面」へ進み浜田交差点を右折約1.5km直進し、メッセ大橋交差点を右折し、約0.5km走って左折

② 京葉道路「幕張」インターチェンジから

国道14号線を千葉方面に約1km直進し、幕張1丁目交差点を右折、約2.5km直進し、メッセ大橋交差点を右折し、約0.5km走って左折

○ 木更津・館山方面からは

東関東自動車道「湾岸千葉」インターチェンジから国道357号線を東京方面に約1.5km直進し、中瀬交差点を左折約1.5km直進し、幕張海浜公園交差点を右折し、約1km走って左折

■ 電車の場合

○ JR京葉線 海浜幕張駅からは

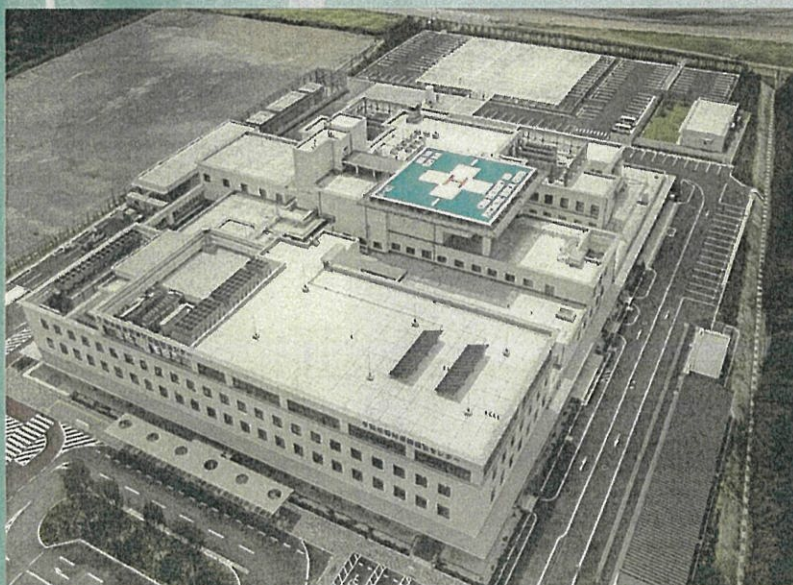
[JR京葉線 海浜幕張駅北口2番バス乗り場から] 医療センター行き(幕01)乗車
→医療センター下車(乗車時間約10分、京成バス)

○ JR京葉線 幕張豊砂駅からは

徒歩約15分

○ JR総武線 京成線 幕張本郷駅からは

[JR総武線 幕張本郷駅南口1番バス乗り場から] 医療センター行き(幕01)乗車
→医療センター下車(乗車時間約25分、京成バス)



精神科を受診される方は

TEL : 043-239-3355

受付/月~金 9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)



千葉県総合救急災害医療センター

〒261-0024 千葉県千葉市美浜区豊砂6-1

TEL : 043-239-3333

FAX : 043-239-3366